

2013年9月27日

各位

積水ハウス株式会社
ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン

積水ハウス × ダイアログ・イン・ザ・ダーク(DID)

共創プログラム「対話のある家」《第3回：秋～冬》

11月2日(土)から開催 チケット販売開始は10月1日(火)正午

積水ハウス株式会社（本社：大阪市北区、社長：阿部俊則、以下「積水ハウス」）は、「グランフロント大阪・ナレッジキャピタル」内に開設した「SUMUFUMULAB（住ムフムラボ）」において、ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン（本社：東京都渋谷区、代表：金井真介、以下「DID」）と展開する共創プログラム「対話のある家」《第3回：秋～冬》のチケット販売を10月1日(火)正午から開始致します。

積水ハウスとDIDによる共創プログラム「対話のある家」では、光が完全に遮断された暗闇の中にグループ（6名まで）で入り、暗闇のエキスパートであるアテンド（視覚障がい者）のサポートのもと、住まいにおける様々な生活シーンを体験します。その過程で視覚以外の様々な感覚の可能性と心地良さに気付くとともに、コミュニケーションの大切さ、人の温かさを再発見することができます。

「対話のある家」は4月26日のオープン以降、常に好評をいただき《第1回：初夏》《第2回：夏》ともにチケットは完売しました。「友人に勧められて来た」という口コミ来場が多く「第1回を体験して良かったので今回も楽しみに来た」というリピーターの来場が増えてきています。8月には通常のDIDプログラムの中に、積水ハウスで開発中の玄鍵を評価する研究プログラムを盛り込んだ評価会を実施しました。評価会に参加された住ムフムラボ研究メンバー※の声を反映し、年内発売を目指して開発に取り組んでいます。

■開催実績

- ・第1回：初夏／4月26日(金)～6月24日(月)、第2回：夏／8月3日(土)～9月23日(月祝)
- ・開催回数／475回、参加人数／2,806名(累計)
- ・参加者内訳／大人87%、学生9%、小学生4%。男性36%、女性64%。(社内研修や取材を除く)

■お客様の声(体験終了後のアンケートからの抜粋)

- ・ふだんの生活では無いがしろにしがちだった“ちょっとした会話”を大切にしたいと考えました。(20代 女性)
- ・いつもはほとんど目で見ていたけど、手や鼻、耳でも見ることができるのがわかりました。(10代 女性)
- ・子どもは不安だったのか、私の手をぎゅっと握っていましたが、徐々に慣れてくると手を握る力が弱くなり、手を離すようになり、安心し始めているのがわかりました。お互いに信頼しあうということを実感でき、良い体験ができました。(40代 男性)

■共創プログラム「対話のある家」《第3回：秋～冬》概要

開催場所：積水ハウス「SUMUFUMULAB(住ムフムラボ)」(うめきた グランフロント大阪・ナレッジキャピタル4F)
開催期間：2013年11月2日(土)～12月23日(月・祝)
開催日時：下記ダイアログ・イン・ザ・ダークのホームページでご確認ください。
定休日：火曜日・水曜日
所要時間：70分
参加人数：1グループ・6名まで(完全予約制)
参加料金：大人3,500円／学生2,500円／小学生1,500円(税込)
購入方法：ダイアログ・イン・ザ・ダークのホームページからのWEB予約のみ
<http://www.dialoginthedark.com/> (住ムフムラボHPのトップページからもリンクを張っています)
チケットに関するお問合せ先：0570-006-506 (IP電話からは0986-46-2672)
(火曜日～土曜日12～18時、月曜日・日曜日・祝日休業)

※「住ムフムラボ」に会場し、研究メンバーとして登録いただいた方。「共創」の一環として当社研究員とともに研究開発にも協力いただいています。

<本件に関するお問合せ先>

積水ハウス株式会社 広報部(大阪) 06-6440-3021 (東京) 03-5575-1740
DID「対話のある家」事務局 0120-29-2704 (11～18時、土曜日・日曜日・祝日除く)